さわやかニュース

Vol.21

発行：市民自治の会さわやか生駒　代表 樋口　稔
〒630-0258 生駒市仲之町2-21島田ビル1F　TEL&FAX 050-5005-8231　e-mail:swyk_ikm@yahoo.co.jp
発行 2007. 6.23

政治倫理条例案　継続審議に

法令遵守推進条例案は可決　　6月議会報告

3月議会で否決された法令遵守推進条例案は21日の本会議で可決されましたが、民主党・市民連合と井上清議員による政治倫理条例案は継続審議になりました。

政治倫理条例案の目的

市長・副市長・教育長・市議会議員が市民全体の奉仕者として、公正性・高潔性を市民に実証する。市民も主権者として公正で民主的な市政の発展に寄与する。

継続審議に至った経緯

市長・議員本人、その配偶者及びその2親等以内の親族などが経営する法人は、市の行う工事の請負、業務委託、市への物品納入等の業務を辞退しなければならない。（15条概要）

この条文で、ある事業が閉鎖に追い込まれるような事態が生じるとすれば問題ではないか？事業閉鎖で社員が解雇されれば生駒の雇用率を低下させる。
（中谷議員・旧清和会）

中浦議員（草創）がこの条例案を継続審議とし、今委員会での採決を見送ることを提案。西口委員長（凛風）は提案説明を求めることなく議事を終了。

そもそも、市との業務関係が中断したら閉鎖せざるを得ない事業とは全面的に市に依存していることを意味しています。そのような事業と市公職者との関係自体が、市税負担者たる市民にとって重大問題であり、だからこそこのような条例が必要とされているものと思われます。

＊　政治倫理条例案・法令遵守推進条例は生駒市議会ホームページにアップされています。

気になる「草創」（樋口・谷村・中浦議員）の動向

６月議会を傍聴して気になったのは、新人議員の会派「草創」３人の姿勢です。

５月の正副議長選で旧清和会や凛風と協調した彼らが、今議会で更に一体化したように感じました。

旧清和会の中谷議員や凛風の山田議員の意見を後押しする形で中浦議員が発言し、次に自分の属する委員会でさえ一言も発言しなかった委員外議員の谷村議員（原稿丸読み！）・樋口副議長がダメ押しで同意見を述べるというパターンが出来上がっていました。

中浦議員にいたっては自分の言葉で説明しきれず、傍聴者の失笑を買い、すかさず中谷委員長が発言を引き継いでまとめるという一幕さえありました。

支持者の代弁者であるはずの彼らが他の議員に追随する形でしか議会での役割を担えない姿に疑問を抱かざるをえません。

さわやか生駒代表　樋口　稔

市民集会

第一部　市政・6月議会報　第二部　意見交換会

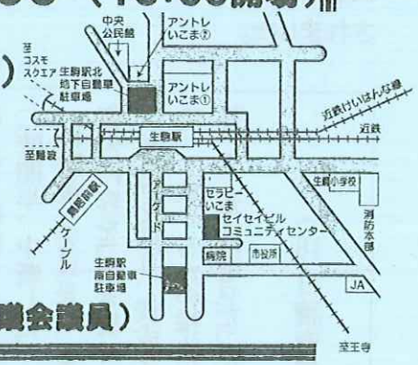
日時：6月30日（土）13:30～16:00（13:00開場）

会場：コミュニティセンター（セイセイビル）

4階　402・403会議室

報告者：山下　真（生駒市長）

角田晃一・塩見牧子（生駒市議会議員）



市民不在の審議　北部地域開発特別委員会

3月26日に提出された独立行政法人「都市再生機構(UR)」に対する生駒市の見解・計画案の議会報告がありました。

	都市再生機構(UR)の見解	生駒市の回答
①200ha 以上を現状のまま残すことについて	相当量の面積を公共用地で確保することになり、地権者の合意が得られない。	合意形成には生駒市も積極的に協力する。
	利用不可能な宅地を UR 等の換地として取得することになるが、資金回収の見通しが立たず、無理。	機構案で利用可能な土地は都市計画道路沿道に限られるので、生駒市案と面積上大差はない。
②都市計画道路の変更にともなう法手続について	見通しが不透明。	柿本前奈良県知事がその可能性を示唆している。
③生駒市の負担を軽減することについて	200ha 以上を現状のまま確保しつつ市の負担を軽減するのは、地権者や UR に負担を一方的に押し付けるもので、協力体制といえない。	平成6年の基本協定締結時と比べ、区画整理事業補助が直接補助から間接補助に変更されており、UR こそ一方的に市の負担を増やしている。
④まちづくりの取り組みについて	市からURに対して要請し、奈良県と3者で推進してきたものなので、市が主体的に取り組むべき。	市には高山地区の土地区画整理事業の主体となる能力も財源もない。

委員会で、井上充議長をはじめ、下村(公明党)・中浦(草創)・山田・西口委員らは、「URがこの案に合意するのか？」「地権者にはどうやって補償するのか？」という市民不在の議論に終始した挙句、ここ数年、議会の了承を得る必要がなかった報告案件が強行採決・否決されました。

報告事案を"否決"

高山ニュータウン開発縮小

生駒市議会で15日に開かれた北部地域開発特別委員会で、市の報告事案に対し、委員会が採択を取るという異例の事態が起きた。

(中略) 通常なら「聞き置く」として終わるはずが、福中真美委員長が採決を求めた。これに対し、山下市長が「議会の了承が必要な案件ではない」と反発。調整のため、終了間際の委員会が約二時間半、中断した。

再開後、委員長は、まず報告内容を「聞き置く」ことへの賛否を採り、賛成2で否決。了承するかの採決に移り、「了承」はゼロだった。

(16日讀賣新聞)

議会改革推進中！インターネット配信も始まる！

傍聴者を増やすことついての審議中に

「傍聴者が騒いで議会事務局に迷惑がかかる。」(山田議員)

「(傍聴を許したら) 本音が言えなくなる。」(西口議員)

こんな意見もありましたが…

議会改革検討会を立ち上げることについて審議中に

「新人議員も多く、とりあえず6月議会でひととおり経験して9月議会からでもいいのでは？」(井上議長)

「(議会運営委員会でも全員協議会でもない) なんか軽い委員会を作って、そこで検討したらいい。」(中浦議員)

こんなことが実現しています。

- 議会日程の公表：　1週間前⇒1ヶ月前に。
- 本会議での質疑：　一括方式のみ⇒1問1答式も可能に。
- 本会議のインターネット配信：閉会後約2ヶ月間閲覧可。
  http://www.ikoma-shigikaijp/movie/movie_03html
- 常任委員会・特別委員会の傍聴：6席⇒空席がある限り
- 全員協議会の傍聴
- 議会改革に関する検討委員会の立ち上げ

聞いていてわかりやすいよ！

家で好きなときに見られます！

6月議会で一般質問した議員、だ～れ？

一般質問をしなかった議員									一般質問をした議員													
×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福田欣彦	中谷尚敬	中野陽奈	井上充生	山田正弘	西口広信	福口清士	谷村淳子	中浦新悟	白本和久	矢奥憲一	下村晴意	八田隆弘	小笹浩樹	福中真美	有村京子	宮内正厳	上原しのぶ	浜田佳資	角田晃一	塩見牧子	伊木まり子	井上清
旧清和会			凛風			草創			無	公明党			民主党・市民連合			共産党			黎明		無	櫂